

授業科目名	人体構造機能学 (2300131)		
時間割名	人体構造機能学 (25201)		
時間割担当	高橋優三		
実施期	前期	単位数	2 必修
曜日・時限	火・5		

授業の目標・概要

人体構造機能学は生命科学の基盤となる重要な学問である。この後に続く疾病、治療、看護を理解するには人体の構造と機能の知識が不可欠である。この科目では、ヒトが外部の環境と関わりを持つときに発揮される機能とその背景となる構造について概説する。すなわち、身体の運動にかかわる構造と機能、情報の受容と処理方法、外部環境からの防御機能、生殖・発生・老化のしくみなどについて講義する。

学習の到達目標

総論的には、学ぶ楽しみと学ぶ方法を知り、自力で成長する生涯学習能力を得る。
具体的な目標は、毎回の配布資料、並びに試験案内に記載。

授業方法・形式

配布資料に基づいてグループ学習、ミニ講義

授業計画

1. 人体の構成
2. 各種組織
3. 細胞の構造
4. 循環器 心臓の構造
5. 循環器 静脈 胎児の血液
6. 循環器 門脈 リンパ系
7. 呼吸器系 気管支
8. 呼吸器系 筋肉
9. 消化器系 口 歯 食道
10. 消化器 胃 小腸 大腸
11. 消化器 肝臓 膵臓 腹膜
12. 泌尿器系 腎臓 尿感
13. 泌尿器系 膀胱 尿道
14. 男性生殖器系 精巣 精子の形成
15. 男性生殖器系 付属生殖腺

成績評価の基準

出席点とペーパーテストの点の合計点。

準備学習・復習及び授業時間外の課題

準備学習は不要。復習や時間外学習は、授業中にでた疑問に基づいて自主的に行う。

履修上のアドバイス及び留意点

グループ学習に慣れる。
大学生を大人として見做すので、全ての行動に自己責任を持つべし。

教材・教科書

解剖生理学 人体の構造と機能 (医学書院)

参考書